

GOBUYAMA PART 2



東京町田にあるタイヤ&ホイール交換のスペシャリスト「ごぶやま/パート2」。新型シエンタでショップを訪れるユーザーも増えてきている。「みなさんホワイトレターで静かなタイヤを希望するので、このH/T IIはピッタリですね」と熊沢店長。もちろんミニバン、SUV用に最適解なプログラムを提案してくれるのでぜひ一度足を運んでみよう。今回のタイヤ&ホイール工賃などで約25万円。

■住所 東京都町田市小野路町3374-1
■電話 0120-528-002
<https://www.gobuyama2.com/>



シエンタ純正は15インチで185/65サイズなので、今回1.5回りくらい外径がアップした195/65R16をセットアップ。タイヤハウスの隙間も少なくなって、サイズ以上の大口径感を実現。このマッチングならステアリングを全開に切ってもギリギリインナー干渉もしない。



ルックスも
大幅にアップ

TOYO TIRE OPEN COUNTRY H/T II
SIZE LINE UP



H/T IIは独自の設計基盤技術「T-MODE」で、ノイズを抑えるショルダーリブ化やグルーブストレート化を組み合わせ高次元の静粛性を実現。あわせてゴム素材にもこだわり、転がり抵抗性能を向上させ燃費にも貢献。ホワイトレターやショルダーのアグレッシブなデザイン性など、オブカンならではのスタイルの高さも確保。



ホイールには、イタリアやフランスの上品で洗練されたイメージを取り入れたファッション「イタフラ系」をコンセプトに、OZレーシングを選択。ごぶやまでは、ナットやバルブ、タイヤバランスの重りも別途料金だが黒にしてくれる。こういった細かい部分までケアしてくれるのはうれしい。

#10系 SIENTA

■トヨタ・オープンカントリーH/T II (195/65 R16)
■OZ-ラリーレーシング (16x7.0J+45)



おしゃれ欧州車として人気のカンクーは、ルックスが好きという声も多い新型シエンタ。H/T IIとOZレーシングの組み合わせでイタフラ系を狙ったコーディネートだ。

TOYO TIRES OPEN COUNTRY H/T II

| トヨタタイヤ・オープンカントリーH/T II |

問:トヨタタイヤ
☎0800-3001456
<https://www.toyotires.jp/>

装着車が増加中の人気タイヤ「オープンカントリー」シリーズに2025年モデルとして追加された「H/T II」。静粛性や乗り味を重視した、転がり抵抗の低減を実現。もちろんアグレッシブなデザインやホワイトレター（一部サイズ除く）でスタイル性も考慮。実際にシエンタに装着してみたのでその実力をチェック。

S UVやデリカD:5など、オフ系やアウトドア系の趣向が強いユーザー達に支持されているトヨタタイヤのオープンカントリー。タイヤ本来の性能はもちろん、アグレッシブなブロックパターン、そしてコストパフォーマンスの高さなどがその人気の理由。そんな中、「比較的、街中での走行が多いので、もう少し静粛性が高いとうれしい」というユーザーの声を反映するカタチで2025年にデビューしたのがこの「オープンカントリーH/T II」だ。

今回、タイヤ&ホイールのプロフェッショナル「ごぶやま/パート2」にて、H/T IIを装着したユーザーのシエンタでその実力をレポート。

「このシエンタのオーナーさんは、タイヤ選びに結構悩んでいました。山や川のハードなオフ路面を走ることがめったにないので、M/TやR/Tタイヤに少し抵抗がある」と、ファミリーカー使用なので、どうしてもロードノイズやゴツゴツした乗り味が気になる。という感じだったので、トレッド面は静粛性を考慮して、ショルダーはちゃんとゴツゴツ系のルックスになっているこのH/T IIをおすすめしました」と、ごぶやま/パート2の熊沢店長。